

対話活動改革のための提言（対話活動改革チーム）

- 提言 1 既存スタイルのセミナー・意見交換会の改善**
(参加者の興味関心、利便性等を踏まえた運営方法、テーマ等の工夫)
- 1-1 各種イベントでの「文化祭型」意見交換ブースの設置
 - 1-2 説明形式のさらなる工夫
(推進側の情報提供だけでなく、慎重意見も含めた情報提供・議論の場の検討)
 - 1-3 インターネットを活用した、シンポジウムや意見交換会等のリアルタイム配信・双方向通信による参加機会の提供
 - 1-4 各種団体とのコラボレーション
(当該団体を通じて、地域のニーズをいかに引き出すかの検討)
- 提言 2 既存のセミナー・意見交換会・対話型説明会には参加してもらえない方々に対するアプローチ手法の検討**
- 2-1 「トンネルツアー」や「地質ツアー」等、地層処分事業に関係する分野における「ワクワクする科学ロマンの世界」を伝える見学ツアー等の企画
 - 2-2 大学のエネルギー・原子力専攻学生等に対する出前講義・セミナーの実施
(将来の原子力業界を背負って立つ学生に、地層処分の重要性を認識してもらう)
 - 2-3 NUMOの広報企画やツール等に対する意見募集のための学生グループ等との座談会、モニター制度の実施 (キーワードは「学生と一緒に考える」)
- 提言 3 NUMOの情報発信や取組みに目を留めて、足を止めてもらうための仕掛けの検討**
- 3-1 「面白い」と感じてもらえる仕掛けづくり
(地層処分に無関心な人々に「立ち寄ってみたいな、見てみたいな」と思ってもらえるような仕掛け)
- 提言 4 地域における社会的合意形成を支援する方策の検討**
- 4-1 地域における社会的合意形成の研究・実践に取り組む専門家との協働
 - 4-2 実際の市民対話や合意形成に取り組む専門家等による、職員研修の実施
- 提言 5 NUMO職員の対話力アップに向けた取組み**
(目指す姿：顔の見えない「組織」から、顔の見える「〇〇さん」へ)
- 5-1 安全性はもちろん、地層処分という広大な科学の世界の魅力を伝えられる人材づくり (目指すは「地層処分の伝道師」)